

受診記録を一元管理

さまざまな医療機関での受診記録をインターネット上で一元管理し携帯電話などで閲覧できるサービス「ポケットカルテ」の利用者が増えている。今月からは、ケーブルテレビ運営会社「ジェイコムウエスト京都みやびじょん局」(京都市)と連携し、新たに自宅のテレビからも健康情報の管理ができるサービスも始まった。

ポケットカルテはNPO法人「SCCJ」(京都市)が展開する健康情報管理サ

ポケットカルテ 携帯などで閲覧 利用者増

サービス。同法人顧問で国立病院機構京都医療センターの北岡有喜医療情報部長が、1995年の阪神大震災で医療機関が壊滅し紙カルテを消失した経験から、大規模災害時のセーフティネットの必要性を痛感したことなどから考案した。

2008年から無料でサービスを始め、府内の病院や全国の調剤薬局と連携し、9月末現在、約3万人が利用している。

10月からは京都みやびじ

健康管理容易に

よん局の情報検索ができる「インタラクティブ」サービスを通じ、特定健診結果や医療費明細書の閲覧や、電子版のお薬手帳による薬歴管理などを利用できる。北岡部長は「ポケットカルテで健康管理が容易になり、医療情報が蓄積されるため、転院などの際に再検査などに煩わされず効率的な受診ができる」と話している。問い合わせはSCCJ



テレビからの閲覧もできるようになったポケットカルテを説明する北岡部長(左)と下京区で

(0)20・0908・617。【堀智行】